

◆◆◆ サンプル工程表のご利用方法 ◆◆◆

この文書では、以下について説明します。

<1> ダウンロードしたファイルの内容を確認しましょう



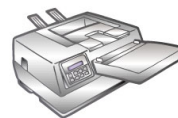
2ページの<1>へ

<2> サンプル工程表を表示してみましょう



2ページの<2>へ

<3> サンプル工程表を印刷してみましょう



2ページの<3>へ

<1> ダウンロードしたファイルの内容を確認しましょう

- ・サンプル工程表(拡張子:kzd)
工程's で作成した工程表のサンプルです。
- ・サンプルパターン(拡張子:pbl)
工程's 付属の差込み印刷ツール Publisher で作成したパターンファイルのサンプルです。

<2> サンプル工程表を表示してみましょう

ダウンロードしたサンプル工程表のファイル(拡張子:kzd)をダブルクリックすると、工程's が起動し、画面にサンプル工程表が表示されます。

既に工程's が起動している場合は、[ファイル] メニューから [開く] を選択するか、ツールバーの



開く) をクリックして、[開く] ダイアログにて、サンプル工程表を選択し [開く] ボタンをクリックします。

※サンプル工程表を表示するには、工程's 製品版、評価版、工程's ビューアのいずれかをインストールする必要があります。

<3> サンプル工程表を印刷してみましょう

工程表をすばやく印刷したい方はこちら！

====> ① サンプル工程表をプリンタに出力して印刷する (3ページへ)

工程表に標題やハンコ欄を追加して印刷したい方はこちら！

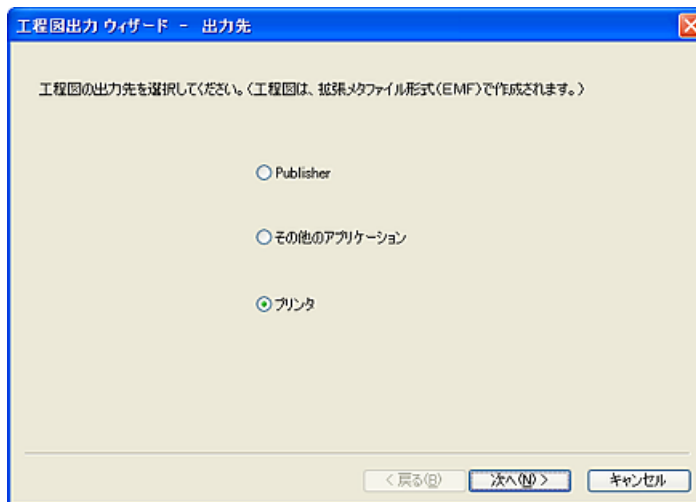
====> ② サンプル工程表を Publisher に出力して印刷する (6ページへ)

① サンプル工程表をプリンタに出力して印刷する

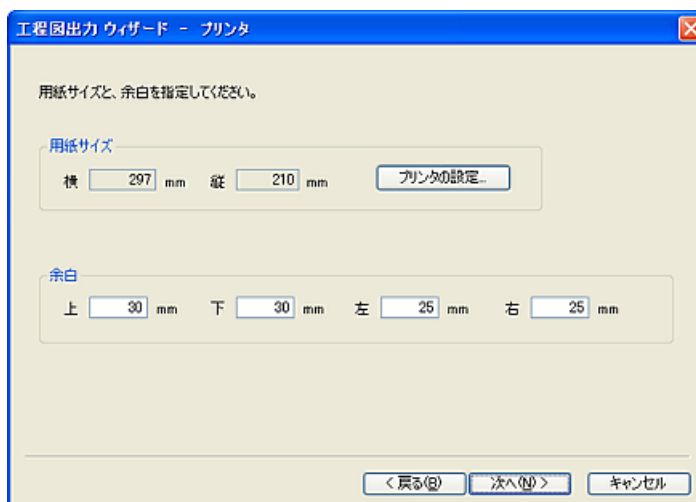
1. [ファイル] メニューから [工程図出力 ウィザード] を選択するか、ツールバーの (工程図を出力) をクリックして [工程図出力 ウィザード] を開始します。



2. [工程図出力 ウィザード - 出力先] ダイアログにて、[プリンタ] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



3. [工程図出力 ウィザード - プリンタ] ダイアログにて、用紙サイズと余白を設定します。用紙サイズは、[プリンタの設定...] ボタンをクリックし、[プリンタの設定] ダイアログで設定します。設定したら [次へ] ボタンをクリックします。



4. [工程図出力 ウィザード - 出力する期間] ダイアログにて、出力する範囲と1枚に表示する期間を設定します。

[出力する範囲] では、工程表に出力する範囲を設定します。

設定には以下の3通りの方法があります。

1) 日付を指定する

開始年月日(時刻)と終了年月日(時刻)を入力して出力範囲を指定します。

2) 編集期間と同じ

出力範囲をプロジェクトの編集期間と同じにします。

3) 表示中のバーに合わせる

現在のビューに表示されているすべてのバーが出力されるように出力範囲が設定されます。
(ただし、マイルストーン、折りたたんだグループの下位にあるバー、非表示にしたグループ内のバー、他のビューで作成したバーは出力対象外)

[1枚に表示する期間]では、1枚の工程表に出力する期間を指定します。([出力する範囲]よりも[1枚に表示する期間]が小さい場合、複数ページに出力されます)

設定には以下の2通りの方法があります。

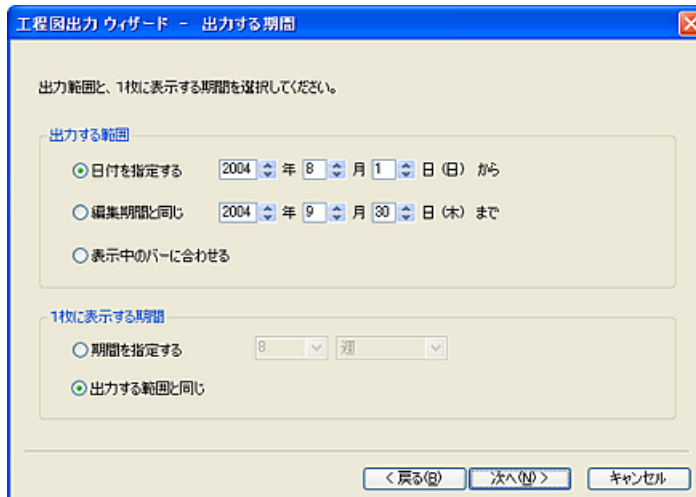
1) 期間を指定する

年、月、週、日の単位で1枚に表示する期間を指定します。

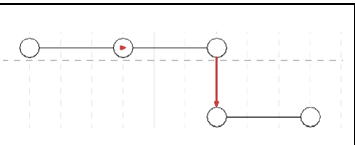
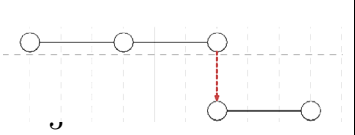
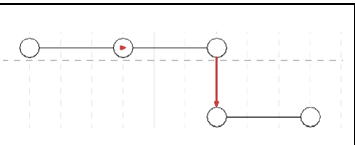
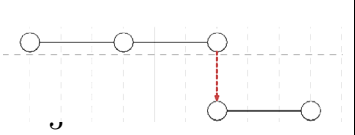
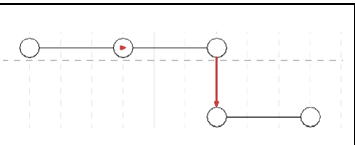
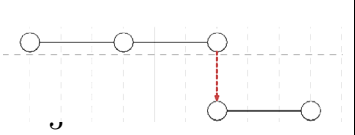
2) 出力する範囲と同じ

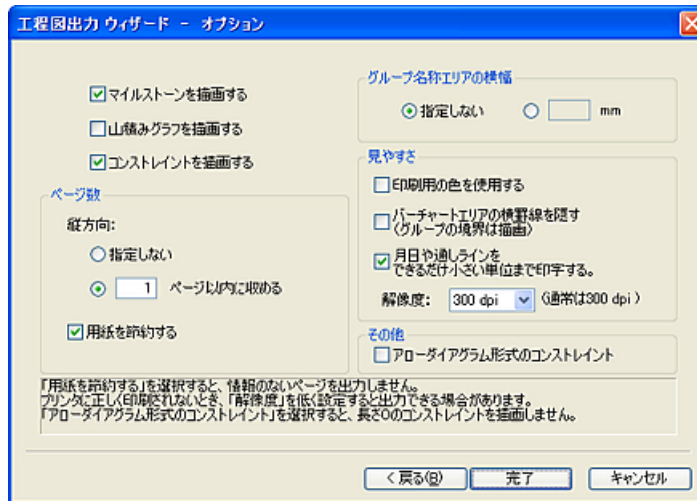
1枚に表示する期間を出力範囲と同じにします。

設定 [次へ] ボタンをクリックします。



5. [工程図出力 ウィザード - オプション] ダイアログにて、各オプションを設定します。
各出力オプションの詳細は、次ページを参照してください。

出力オプション		内容				
マイルストーンを描画する		チェックをつけた項目を出力します。				
山積みグラフを描画する						
コンストレイントを描画する						
ページ数	縦方向	指定しない	実際のサイズのまま出力します。			
		<input type="radio"/> ページ以内に収める	指定したページ以内に収まるよう縮小して出力します。			
	用紙を節約する		チェックをすると、バーの存在ないページは出力されません。			
グループ名称エリアの横幅	指定しない		グループ名称エリアの横幅を実際のサイズで出力します。			
	<input type="radio"/> mm		グループ名称エリアの横幅を指定したサイズで出力します。			
見やすさ	印刷用の色を使用する		チェックすると、モノクロプリンタをご使用の場合にも見やすい配色で出力します。また、現在日の線が少し太く印刷され、コンストレイントと重なっても判別しやすくなります。			
	バーチャートエリアの横罫線を隠す (グループの境界は表示)		チェックをすると、バーチャートエリアの同一グループ内の横罫線が出力されません。			
	月日や通しラインをできるだけ小さい単位まで印字する		チェックすると、カレンダーエリアのプロパティで設定した表示するラインの範囲で、サイズが0にならない程度にできる限り文字を縮小して印字します。			
	解像度		ご使用のプリンタの種類により、正しく印刷されない場合があります。 正しく印刷されない場合は、解像度を低く設定してください。			
その他	アローダイアグラム形式のコンストレイント	<p>チェックをすると、コンストレイントが点線で出力されます。 また、長さが0のコンストレイントが出力されません。</p> <table border="1" data-bbox="730 1823 1311 2107"> <tbody> <tr> <td></td> <td>チェックなし</td> </tr> <tr> <td></td> <td>チェックあり</td> </tr> </tbody> </table>		チェックなし		チェックあり
	チェックなし					
	チェックあり					



設定できたら、[完了] ボタンをクリックします。

② サンプル工程表を Publisher に出力して印刷する

Publisher とは、工程's 付属の差込み印刷ツールです。

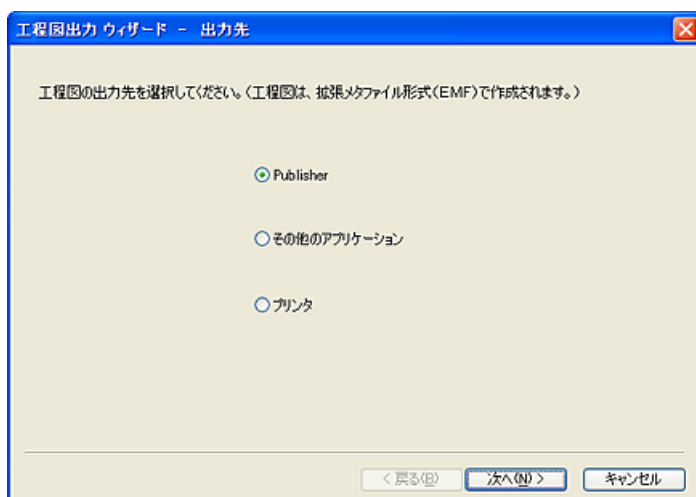
Publisher であらかじめパターンファイル(拡張子:pbl)を作成しておき、そのパターンを適用することにより、タイトルやハンコ欄などを追加したオリジナルのフォーマットで工程表を印刷することができます。

※ダウンロードファイルには、サンプル工程表の他にパターンファイルのサンプルも含まれておりますので、ご利用ください。

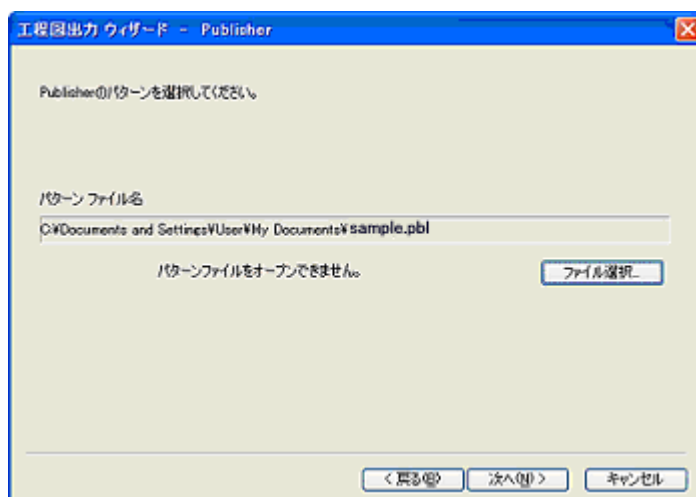


1. [ファイル] メニューから [工程図出力 ウィザード] を選択するか、ツールバーの [工程図を出力] をクリックして [工程図出力 ウィザード] を開始します。

2. [工程図出力 ウィザード - 出力先] ダイアログにて、[Publisher] を選択して [次へ] ボタンをクリックします。



3. [工程図出力 ウィザード - Publisher] ダイアログにて、[ファイル選択] をクリックしてサンプルパターン(拡張子:pbl)を選択します。



選択したら、[次へ]をクリックします。

以降の操作は、① サンプル工程表をプリンタに出力して印刷する の4. (2ページ)以降と同じです。

